

夕刊 岩城新聞

行發日一十二月九 刊休日翌日祭曜日

炭礦民俗誌續稿

山口彌一郎 (七)

第三條 當山使役せる坑夫は直ちに交際所へ出願其の旨届出べきは勿論たるべき事柄元は於て名札を掲示すべきに依り萬一掲示なき場合は之れ又直ちに其旨申出で名簿の登録を受くべきものとす

第五條 前條交際金は會計の當目必ず納付すべきものとす、萬一納付し難き時は其の事情に依り參日間猶豫期間を経過するも納付せざる時は其の金額に充る物件を徴せらるるものとす

第六條 交際者にして都合上當山を退去する場合は従別金として使役當日より參ヶ月以上交際せる者に對し金貳拾錢を贈與するものとす (下略)

第七條 病氣又は負傷の場合には直ちに醫師の診斷書を添へ箱元へ届出づべし (下略)

第八條 病氣又は負傷の場合には左の區別により見舞金を贈與すべしものとす 三週間以上四週間以内

第九條 病氣又は負傷の場合には折角働いて喜んで居るに學生の宗教があらば來年は不作とす、迷信、

第十條 折角働いて喜んで居るに學生の宗教があらば來年は不作とす、迷信、

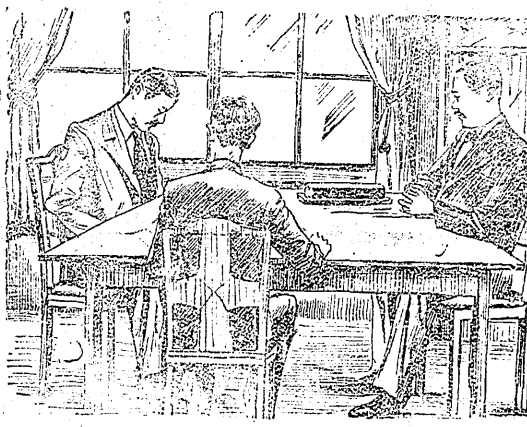
第十一條 折角働いて喜んで居るに學生の宗教があらば來年は不作とす、迷信、

見ぬ夢 草間 桔梗 雨の音聞きつゝ、じつと天井の節穴に視線をよせてゐると!

みのもり 好問 伊藤寒山子 稗拔きの左右にわたる早稲の波

高橋是清 (124) 松浦泉三郎作 佐々木今朝吉譯

小 田島技師は、まだいそがしう、



「何だ、御用でも?」と、静かに言つた。是清は暫らく田島技師の顔を視線を注いでゐたが、やがて、矢張り静かな、然し沈痛な聲で

「高橋さん、」と、田島技師が口を「お言葉が事實とすると、」

院醫波難 小兒科 入院 應需 自炊の便あり 平町大町 電話五〇二番

平製米會 日本米産 魚介 凍魚 平製米會 電話二二八、三三六番

開院 皮膚科 泌尿器科 性病科 門專 江尻醫院 電話六九一

お醤油は... ヤマフル 山崎合名會社 電話(本館部)一〇番

一般貨物運搬 迅速低廉に御取扱ひ致します。 福好工業合資會社 代表者 強口唯七郎

諸機械製作販賣 會社 田邊製作所 平白銀町(驛前通) 電話二九四番

最新流行型 植田町本町 栗原靴カバン店 電話一三二番

福島縣立代用精神病院 郡山脳病院 郡山市外大槻村針生 電話九二五番

舎放大 電話下谷區六七七番 前野野上東京東 角延橋局郵便谷下

耳鼻科 専門 平町南町一六番地 大和田醫院 電話一七〇番

白馬の雪 辰の口本店 平塚村(電話二八五番) 販賣 平町三丁目(電話二八番)

互融會事業 近況 報告(昭和十一年) 會員數 四三〇五口 世帯數 三、二九九戸

鹿倉由美 隨感隨想 東北隨一の太平洋大崩壊...

見ぬ夢 草間 桔梗 雨の音聞きつゝ、じつと天井の節穴に視線をよせてゐると!

日満野球の意義
過ぐる満洲五周年紀念日を以て遠東の強國奉天

患者實に二百四十名
磐崎村折詰中毒事件後
死者三名、重患十七名を出す

怖恐の死
既報、磐崎村患者四百餘名に達してゐる

二十萬石確實か
郡下の豫想稻作
昨急報
磐崎村折詰中毒事件後

折詰の内容
折詰の中毒事件が意外に擴大

米價下落の爲
植田町では去る十六日政府拂下米に就き

磐崎村折詰中毒事件後
既報、磐崎村患者四百餘名に達してゐる

連日採捕二百貫
小名濱岸に鮑景氣湧く
鮑の採捕は、昨今盛んである

蛙は不漁の見込
鮫川の入札安値で決定
鮫川鮭魚組合では昨今盛んである

奉天軍雪辱
仙鐵軍に挫つ
奉天軍は元氣回復十九日

直に殴る癖
物騒な男起訴
内郡村宮字宮澤無職安積郡

抗野球戦
平青年團對
明後二十三日施行

悲戀職工と女給
男は遂に絶命す
湯本町宇野町旅館とある男は大浦村生れ

金券採取り公判
傍聴者殺到を豫想
廿九日平支部で開廷

下車した瞬間
内郡村日雇傭人の輪禍
内郡村小島字新町一九日雇傭人

天候
今晩は北西の風雨
明日は北西の風雨後曇

直に殴る癖
物騒な男起訴
内郡村宮字宮澤無職安積郡

抗野球戦
平青年團對
明後二十三日施行

悲戀職工と女給
男は遂に絶命す
湯本町宇野町旅館とある男は大浦村生れ

金券採取り公判
傍聴者殺到を豫想
廿九日平支部で開廷

下車した瞬間
内郡村日雇傭人の輪禍
内郡村小島字新町一九日雇傭人

米價下落の爲
植田町では去る十六日政府拂下米に就き

日東商會
電話二二八

秋山材木店
店主 秋山市造

建築請負
用材 各種銘木

電燈、動力、新設増設及改修

各種銘木
植田町 電話六二番

電燈、動力、新設増設及改修

各種銘木
植田町 電話六二番